

たつの出身作曲家 薮田さん 国際コンクールで優勝

新進気鋭の作曲家として、世界を舞台に活躍する薮田翔一さん(29)は、つこの市御津町出身。ベルギーで開かれたピオラソロのための国際作曲コンクールで優勝した。ウィーン作曲コンクールで昨春、最優秀賞を受けたのに続く快挙。日本の関係者を通じ、メールで「もっと世界で自分の曲が演奏されるように頑張りたい」と喜びを語った。(松本茂祥)

ベルギーで今月開催



薮田翔一さん

ベルギーのコンクールは今月15日に開催。ピオラソロのための国際作曲コンクールは世界的にも珍しく、世界41カ国から181作品の応募があったという。

第1位に輝いた「MOVE(ムーヴ)」は3楽章構成で約7分間。薮田さんは「一番低い弦を高音で使用するなど、楽器の良さを最大限に引き出すことを意識した」という。各楽章で全く異なる曲調にしたほか、演奏者の姿も美しく見えるような「動き」にも重点を置き、それが「MOVE(動き)」というタイトルになった。

作品審査の際は、日本人の演奏者を主催者側が手配するなど、クラシック界での日本人の活躍を現地に印象づけた。「自分の曲が、ベルギーで演奏されたことがすごくうれしかった」と語る薮田さんは、ニューヨークを拠点に、今後も作曲の武者修行を続けるという。

薮田翔一さん



たつの市出身で新進気鋭の若手作曲家として活躍中の薮田翔一さん(29)が今月中旬にベルギーであったピオラソロのための国際作曲コンクールで1位に輝いた。昨年はウィーンの代表的コン

たつの出身・薮田さん ベルギー・作曲コン1位に

サート会場「コンツェルトハウス」創立100周年を記念した作曲コンクールのオーケストラ部門で最優秀に選ばれており、海外での活躍が続いている。

今回のコンクールは、現地の団体「Sorodha」が主催。世界各地から181作品の応募があった。薮田さんの作品「MOVE」は3楽章構成で7分間。ピオラの魅力を最大限引き出すことを目指したと

いう。

薮田さんは東京音楽大学大学院在籍時の2009年から日本音楽コンクール作曲部門で3回連続入賞するなどして頭角を現した。昨年いたつの市民奨励賞を受賞し、現在は海外で音楽修業中だ。

今回の受賞について「すごくうれしい。世界各国で自分の曲がもっと演奏されるよう頑張っていきたい」と話している。